

2021年8月1日



月刊

もぐら通信

2024年1月1日 第134号 初版 <http://abekobosplace.blogspot.jp>

あなたへ：
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地に届きます

もぐら通信を自由にあなたの「友達」に配付して下さい



安部公房の広場 | | www.abekobosplace.blogspot.jp | 問合せ：takranke2003@yahoo.co.jp



『S・カルマ氏の犯罪』の最後に登場する
非ユークリッド空間を映写する映写機

目次

- 1 目次…page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（20）泥：吉田一穂……page 22
- 4 周辺飛行（44）：3。『周辺飛行』について（21）：周辺飛行42：道化的脱出劇：岩田英哉…page 23
- 5 **【読者必見】** 安部公房にきた日本共産党入党通知を復元する：岩田英哉……page 27
- 6 二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（14）：安部公房の塔と倉橋由美子の塔（4）：5。『パルタイ』論：岩田英哉……page 33
- 7 糞尿と性愛の文学～生殖器・排泄器同一社会論仮説～（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/
1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉…page 42
- 8 ネット・モナド論（19）：7.4.3 何故極左・共産主義者たちは都市を狙ふのか：岩田英哉…
page 43
- 9 サンチョ・パンサを求めて（12）：お注射記念日：岩田英哉……44
- 10 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（16）：5.16.4 八の音義は何を意味するか（4）：K 親鸞聖人の超越論：岩田英哉…page 50
- 11 Topologyで日本の文化を解説する：内なる境界シリーズ（12）：扇：岩田英哉…page 52
- 12 編集後記…page 53
- 13 編集方針……page 54

The Best Tweets of the Month

すのもの@FAC_sd3・Jul 8

安部公房の作品の手のひらに載せたものが解れていく質感みたいなそういうやつ好き

しんはな@saba_no_miso_2・13h

安部公房文体の湿度が高すぎて1日に数ページずつしか摂取できない

ひび@goma_natto・Jul 14

日本文学史上、最も文章が上手いのは誰ですか？と聞かれたので、安部公房と即答しておいた。賛同者は少なからうが、自説を曲げるつもりはないRelieved face

今月の死刑

のりー@noribiyori・2h

むかし仲代達矢主演、千田是也演出、安部公房「奴隷狩り」俳優座って劇団はつまらないなと思った♪



今月の第四間氷期

madeleine@storyforf・Jul 11

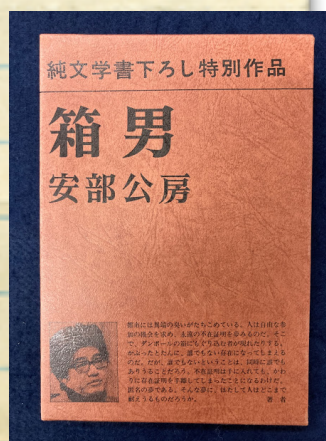
しかし、待望の風は吹いていた。とりわけ、風が眼を洗い、それにこたえるように、何かの内側からにじみだしてくる。彼は満足した。どうやら、それが涙であり、地上病だったらしいと気づいたが、……もう動く気はしなかった。

——安部公房『第四間氷期』

今月の箱男

神保町の古書店 @ワンダー@atwonder・Jul 14

日本文学単行本コーナーより、安部公房『箱男』(新潮社)初版です。初版本といっても高価なものではありません。タイトルがタイトルだけに、箱(函)入単行本で読んでみるのはいかがでしょう。



今月の靴

madeleine@storyforf・Jul 11

べつに不安は感じなかった。ちゃんと靴が私を導いてくれている。

私は、ためらうことなく、何処までもただ歩きつづけていけばよかった。選ぶ道がなければ、迷うこともない。私は嫌になるほど自由だった。

もぐら通信

今月のア・プリアリ

清水 Air@shimitecton・Jul 15

養老孟司との対談聞いてたら、安部公房が普通に「ア・プリアリに」と言っていた。今じゃ話し言葉で（書き言葉でも？）アプリアリが出てくる人はいなくなった。

今月の壁

音隅 管譜@otonezumi・Jul 14

見渡す限りの曠野です。その中でぼくは静かに果てしなく成長していく壁なので
す。 —安部公房『壁』

してき断片bot その市@fragments_bot・Jul 12

おれは水蒸気の中で殺されて 丸くなった。しかし饅頭ではない、なぜなら中味が空っぽだからだ。(安部公房『壁』)

今月の人間そっくり

いぬごはん@marineccco・Jul 13

Books

『人間そっくり』安部公房

気がついたらこちらまで「安全な観客席」にはいられなくなる作品。合わせ鏡を覗き込んだら最後、いつの間にか「ある晴れた五月の昼さがり」なんて描けなくなっていつの間にかわたしも火星人。狂気の中で無限ループ。こわい。

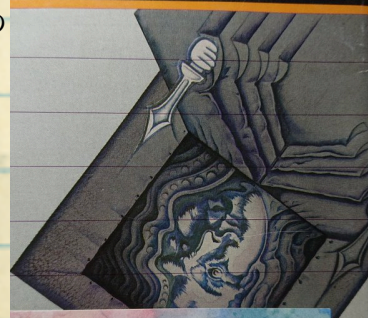


頼太@読書垢@writer_naritai・Jul 11

ひんでん様(@Gemini_hinden)にお薦めいただきました、安部公房先生の『人間そっくり』を拝読しました。#読了

《こんにちは火星人》というラジオRadio番組を担当している“ぼく” Bust in silhouette。そんな彼のもとを訪ねてきたセールスマン風の男は、自らを「火星人」 Extraterrestrial alien Full moon symbol と言い始めて ……Exclamation question mark Closed book

人間そっくり 安部公房

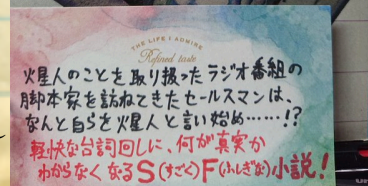


今月の公然の秘密

madeleine@storyforf・Jul 10

当然だろう、弱者への愛（5文字傍点）には、いつだって殺意がこめられている。やがて仔象は、古新聞のように燃え上り、燃えつきた。

—安部公房「公然の秘密」

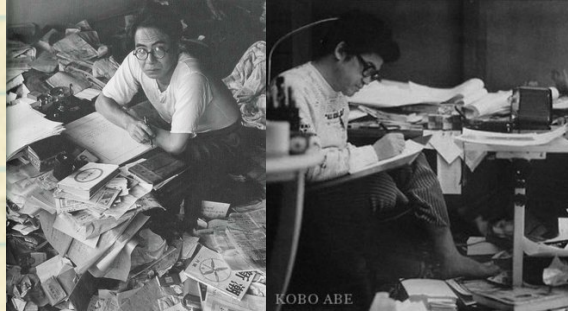


もぐら通信

今月の坂口安吾と安部公房の書齋

Manabu Ueno@manabuueno・Jul 11

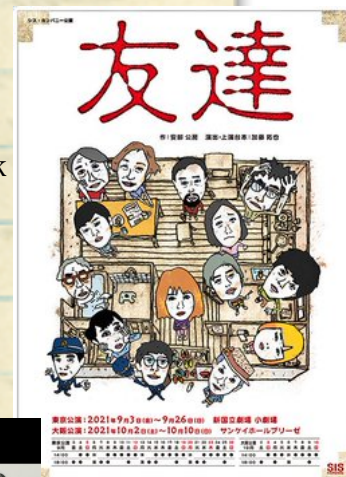
何かを作ると、その何倍もの思考のカスが出る。それが大量に頭の中に吹き溜まっている。そのせいで作業スペースがいつもほんの少ししかない。まあいいか。坂口安吾の机だってゴミの山だし、安部公房にいたっては机が完全に埋没して膝の上で原稿書いてたみたいだから。



今月の友達の公演

ピト@kakatan0206・Jul 9

抽選無事取れましたSmiling face with open mouth and tightly-closed eyes
息子がこれでもかってハマってた安部公房の作品が見たくて応募！安部公房ってどんな作品書くの？と聞いたらWikipedia見せてきたw
生を一度解体し抽象的に再構成して生の構造そのものを突きつけて
...Face without mouth←って顔してたら分かりやすく説明してくれた
たRolling on the floor laughing 今は日本文学全集読んでるOpen book



げきぴあ byチケットぴあ@gekipia・Jul 14

舞台「友達」チケット先行抽選受付Dizzy symbol

東京公演は7/15(木)23:59まで抽選受付中！

大阪公演は7/15(木)18:00～受付開始！

お見逃しなくEyes

YMC_1987(どいどい)@Y_Monopoly_Club

・1h 9月の新国立劇場で安部公房の
「友達」が上演されるらしい。行きたいなあ。

尚@nao_lake8・Jul 12

仲村トオルさん、安部公房の舞台出るのか…

しかも兵庫に来る…

ちょっと気になる



もぐら通信

☞最初に見た宇佐美圭司は『100枚のドローイング』のどれかで、『新潮現代文学 33 安部公房』の装画。だからか、理数的であるとともに文学的な理知を感じていた。ほかにも、この装画もそうなのか〜という本も（ネグリ／ハート『帝国』など）。万博の鉄鋼館にも行ったはずだがさすがに覚えていない…Smiling face with open mouth and cold sweat



今月の方舟さくら丸

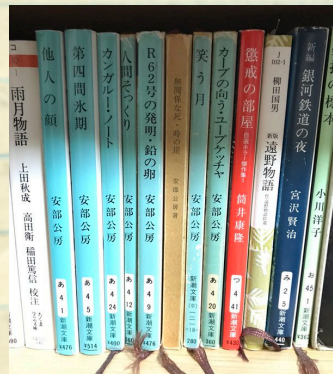
ばけのかわ@re_kishinton・Jul 14

プロ野球前半戦最終日の今日、仕事を早めに片付け途中から観戦できる体制を整えつつ、ぼろ負けしてた時には素早く現実逃避できるように安部公房の『方舟さくら丸』を用意した。完璧すぎる。これこそ野球観戦者の鑑ではなかろうか

今月の新潮文庫

おふも Ringed planet@off_moff・Jul 12

安部公房の短編集、そこそこある



Hans Castors@crepuscule1976・Jul 9

『安部公房全集』（全30巻）の古書価格が13万円弱なのに対し、『露伴全集』（全44巻）は2万円弱。

crow@tobeyokashi・Jul 11

#本音の名刺代わりの小説10選

赤い繭/安部公房

他人の顔/安部公房

箱男/安部公房

デンドロカカリア/安部公房

手/安部公房

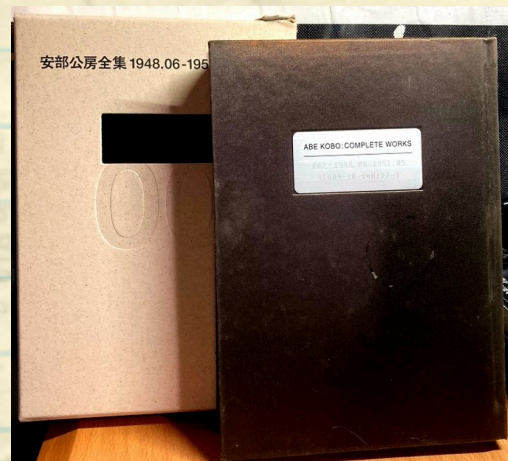
密会/安部公房

笑う月/安部公房

もぐら通信

砂の女/安部公房
 人魚伝/安部公房
 闖入者/安部公房

とはいえ、いろんな作家をあげたいし、
 普通の名刺代わりも決して建前ではないん
 ですよFace with cold sweat



今月の新潮文庫2

Misonicomidong@misonicomidong・Jul 12
 なめらかな世界と、その敵、無関係な死・時の崖、
 第四間氷期、箱男 の計4冊を購入しました。
 なめらかなーは図書館で読んで気に入ったので
 購入しました。安部公房の作品は初読です。
 向こう数ヶ月で再読中の本と共にじっくり
 楽しもうと思います。
 #ハヤカワSF #安部公房



今月の愛読者

女女カップル あおとゆま マレーシア在住Flag of Malaysia@am32ma・Jul 12
 砂の女は本当に衝撃だった
 大好きで何度も読んだ

たくさんの本や漫画を処分したけど安部公房のお気に入り
 は数冊今もマレーシアに持ってきている。
 いつかまた読み返したくなるに決まってるから。



みいこ@もんこはんR@konechan1・Jul 12
 短大の時集めてたの見つけたー！！
 安部公房氏の文庫は読みまくってぼろぼろで自分でカバー
 作ったりしたけどこれはそのままや！
 人魚伝読みたかったんじゃー
 短編 壁 と同並んで名作

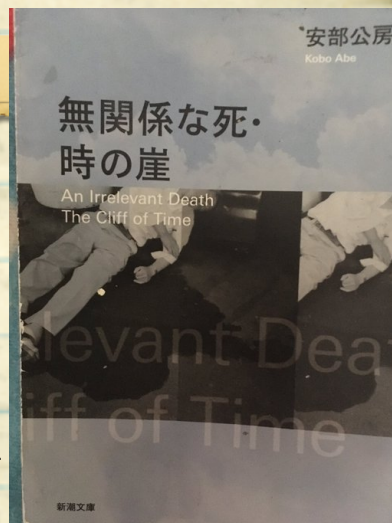
無関係な死みたいなことって死体関係なくよくあるよね…あるある

もぐら通信

今月の案内人・ガイドブック

みいこ@もんこはんR@konechan1・Jul 12

安部公房氏の作品って導入部に 謎の準備メモとか新聞記事とかがぎつと書かれる この なんだなんだ？な引き込み感が好きなんだわ



劇で言うところの舞台装置的な

しかもそれを短編でもできるところ

今月の他人の顔

みり@読書Seedling@miricat_book・Jul 11

『他人の顔』安部公房

主人公の顔に対する思考が、鋭いながらも偏見に満ちているようで、的を得ている。自と他を区別するのが顔。



epi_gram | 映画@epi_gram・Jul 13

【#燃えつきた地図 (1968)】

失踪人調査を依頼された興信所の探偵。都会の中で失踪人を追ううちに、段々と自分をも見失い始める。都会の中で自分を見失うという点で『#他人の顔』と共通のテーマで、実存の不安を終始描いている。

#勅使河原宏 #安部公房 #勝新太郎 #映画 #映画好きと繋がりたい



猫BANBAN@horse_sheep・Jul 10

The Face of Another (1966)

Bibari Maeda 前田美波里

もぐら通信

#他人の顔 #KoboAbe #安部公房



epi_gram | 映画@epi_gram・Jul 9

【#他人の顔 (1966)】

事故で顔を失うことで自分を見失い妻に拒絶された男。顔を修復して妻を誘い復讐する。顔が変われば自己も変わるのか？アイデンティティを失うのか？「顔は心の扉で、顔が閉ざされれば一緒に心も閉ざされてしまう」

#勅使河原宏 #安部公房 #仲代達矢 #映画 #映画好きと繋がりたい



今月の対談

ペのペのん - 文学のコトノハ(´◡ω◡`)@Penon_Penon

今日もありがとうございますSmiling face with smiling eyes

安部公房さんの対談を見つけて閲覧中Musical note

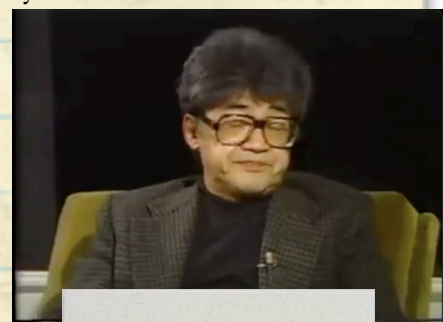
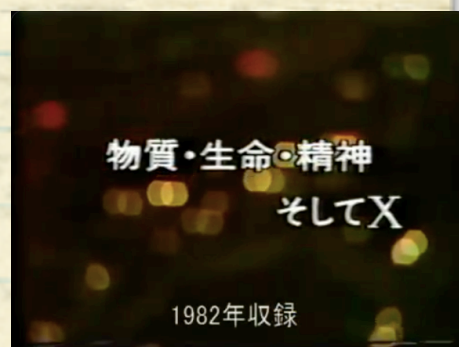
帰宅してからウトウトしてたのに

聴いてたら目が冴えてきたSplashing sweat symbol

安部公房・渡邊格 対談完全版

Abe Kōbō <https://youtu.be/-wnxaqxYIjY>

おやすみなさいCrescent moon 明日も良き日であります



今月の安部公房全集

Sarutarello@Sarutarello・Jul 10

この装丁のかわさ、高校生の時にいたく感心した。

アルミのプレートに収録年とISBN番号が刻印してあるのだ。

そして巻号はレリーフになっているという。

安部公房全集 1973.03-1974.02

ABE KOBO COMPLETE WORKS
VOL. 1973.03-1974.02
ISBN4-10-148144-9

024

今月の忌野清志郎

ゴリーリー@juricoco・23h

変なとこ気楽で変なことことん変な今の職場。リアル書店に

暫く行けなくなる予感があるので、仕事帰りに職場のお隣の自宅方面逆の大垣書店さんへ。ちょうど一ヶ月前に初めて行った時に気になってたちゃぶ台の上に安部公房と清志郎さん乗せて帰宅。明日が金曜日です。

もぐら通信

頑張れ、荒篤山!!!



今月の安部よりみ

田村半魚人@zokuryuchinriga・Jul 12

そう評論家の三浦雅士が安部公房のお母さんの小説がスゴイと書いてた、公房より才能があると。その作品は三浦推しで文芸文庫入りしたはず

今月の闖入者

SHOEGAZING@SHOEGAZING1・Jul 12

SF風味の非現実感が気に入って安部公房を最近読んでるんだけど、「闖入者」ってのが怖すぎて。。これは忘れられないな...

takuya@osaka(令和3年最新版)@takuya_1st・Jul 11

闖入者(安部公房)を想起した、
Quote Tweet

Matthew@paulerdosh・Jul 11

珍しく宗教勧誘の人が来た。うっかり玄関の前まで入れてしまった。顔は合わせてない。興味ありませんとドア越しに伝えたが延々と日蓮様がどうのこうのと大声で喋り続けてた。なぜか思わず可哀想にと呟いてしまった。いなくなった。少し怖かった。阿部昭を思い出した。居心地の悪い気分を引き摺っている

今月の似顔絵

MONEKO+@MONEKO83746087・Jul 11

【安部公房】

珍しく真面目に。

#似顔絵 #砂の女 #新潮文庫
#イラスト好きな人と繋がりたい
#イラスト #イラスト練習中



もぐら通信

今月の砂の女

バンビ (Masayuki Ban) @bigban715・Jul 11

『砂の女』安部公房

永戸拓也さん@zfKNzTtISkHiwq3

オススメ本 8月に休暇を取り、ハンミョウの新種を探しに砂の丘に向かった男が、砂の穴に埋まっていく家に閉じこめられてしまう物語 あらすじだけならば童話かファンタジーぽいが、これをリアリティに魅せる著者の卓越した筆力と多彩な比喩表現よ…

あいさき | 営業コンサルタント@s_tokyo001・Jul 12

「たしかに労働には、行先の当てなしにでも、なお逃げ去っていく時間を耐えさせる、人間のよりどころのようなものがある」安部公房の小説「砂の女」の一説。人間こうなってしまったらマジでやばい。なんとなく生きているといつの間にか手段が目的が変わってしまう。ゴールから逆算して今日を生きよう。

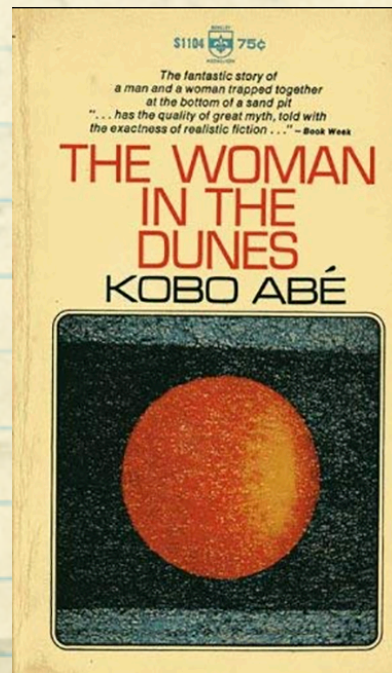
cöm ë τ * @b_cometclub・Jul 15

『DUNE 砂漠の女』(息子によるシリーズ最新作)かと思ったら違った(ε・s)j

砂の女：安部公房

The Woman in the Dunes by Kobo Abé

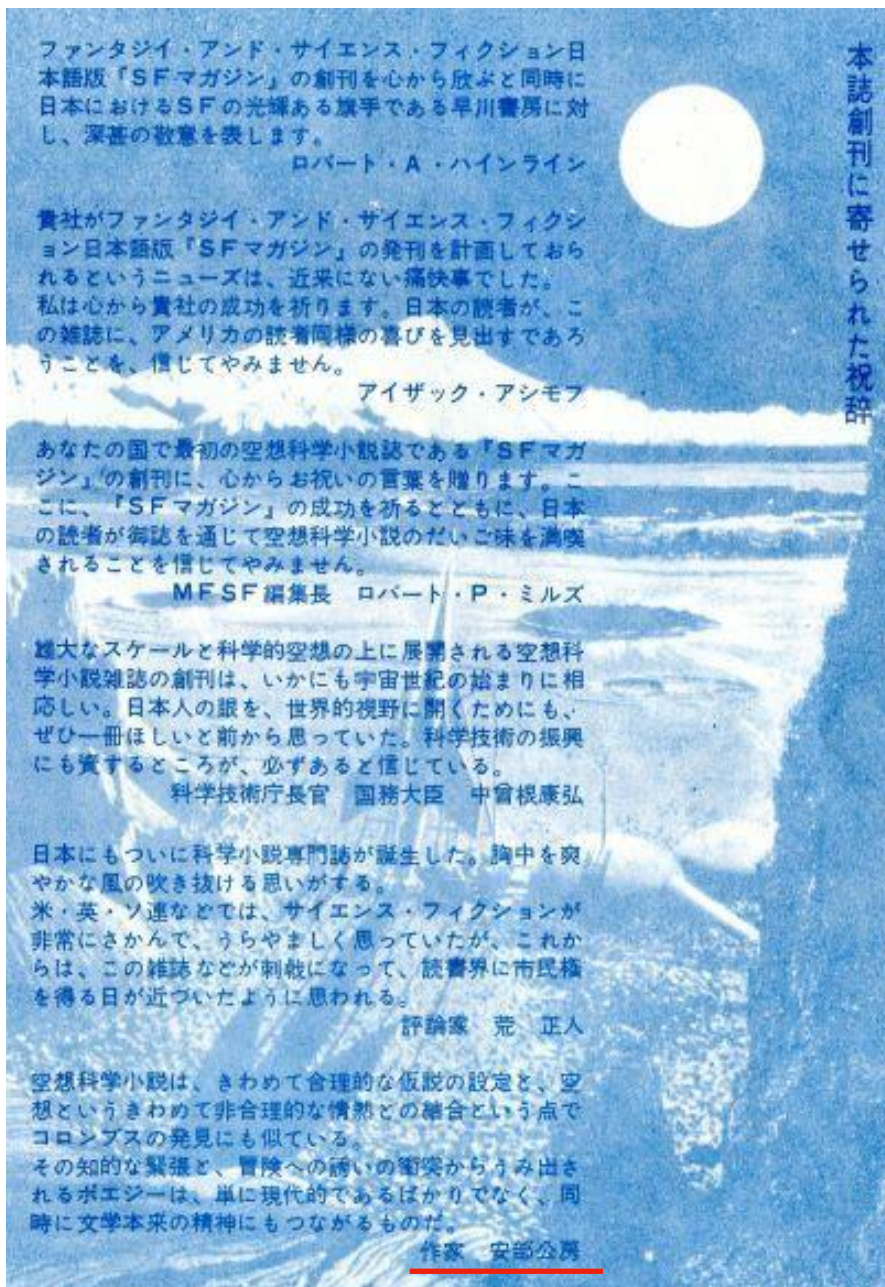
(だって表紙が惑星アラキスやん)



今月のSFマガジン

ヒサミチ@hisamichi・Jul 10

日本で初めて成功した空想科学小説誌 SFマガジン1960年の創刊2号へ ハイインラインやアシモフ、安部公房と共に自民党右派のプリンス、中曽根康弘が祝辞を送ってるんですね「科学技術の振興にも資するところが、必ずあると信じている」当時彼は原子力政策をすすめた、科学技術庁の長官だったので



本誌創刊に寄せられた祝辞



今月の密会

文学の粋な一節@iki_bungaku・Jul 13

ふくらみかけた胸に乳首がめり込んでいる。過ぎていく時におびえて身をひそめているようだ。—「密会」安部公房

今月の花田清輝

かずし@kazuc_24・Jul 13

花田清輝『冒険と日和見』という本を見つけたら買ってきてと頼まれる。どうやら安部公房の跋文が読みたらしい。島尾敏雄の『硝子障子のシルエット』を持ってきてその後ろの刊行案内を見せられる。そういえば『死の棘』の話もしてたな。

もぐら通信

今月のフォトグラファー-安部公房

ouchi4857@ouchi98632017・Jul 10

写真家じゃないけど撮る写真が好きだな人けっこういるな ヴィム・ヴェンダース、
安部公房、岸本佐知子

今月のカンガルー・ノート

るみ子Umbrella with rain dropsSnail@rumi0707rumi・Jul 13

夫に安部公房をオススメされて、とりあえず『カンガルー・ノート』を読み始めた。
脛にかいわれ大根が生えた男の話。一体どうやって話を広げるんだ。

今月の富山治夫

SAKANO@SAKANO47086550・19h

東京国立近代美術館で富山治夫さんのオリジナルプリントを見てきました。写真が
好きな人なら富山さんの写真は一度は見た事があると思いますが、高度成長期の日
本を捉えたその視点が本当に面白い。雑誌の作家、安部公房や大江健三郎の「お
題」で街に出て、こんなユーモア溢れる作品が撮られる凄さ。

**今月の穴**

O・T・T・T・T・@otttt3・Jul 10

安部公房はこういうのを見て砂の女を思いついたのかね

**今月の棒**

食人 ずく@hamitozuku・Jul 9

安部公房、『棒』の先生がもう完全に僕の推し解釈一致なんよな
学生二人も推し解釈一致してるし、なんなら世界観自体解釈一致だから登場人物全
員解釈一致ってことになる(意味不明)

もぐら通信

今月のマルクス主義者

カノ@whup44・20h

うるせえ、おれは安部公房の作品を労働者と革命にからめて卒論書いた女だぞ！！
ソ連にときめいてもいいじゃねえか…

今月の砂丘

福村 隆@9fFcIpJDSomEM3k・Jul 10

【Musical score行きはよいよい】今朝は、御前崎市「浜岡砂丘」でビーチクリーンアップ！安部公房「砂の女」のロ…



【行きはよいよい】今朝は、御前崎市「浜岡砂丘」…

【行きはよいよい】今朝は、御前崎市「浜岡砂丘」
でビーチクリーンアップ！安部公房

go2senkyo.com

今月の壁

Blue book水石鉄二@読書noter@TetsujiMizuishi・Jul 15

安部公房の『壁』もまとめないとイケませんね。

壁・顔・箱～自己と他者を仕切る境界 | 水石鉄二



20世紀の文学bot@20C_Literature・Jul 10

不潔……？ とんでもない。近代的設備のもとで、高温加圧の過程を経て製造された鼠肉ソーセージに、いかなるバクテリアが留りうるというのか。まさに蒙昧の言である。残るところは気分すぎぬ。だが気分……気分とは一体何者であろう。無知からくる不安の一言につきるではないか。『壁』安部公房

今月の読書会

『本読み会』@honyomikai・Jul 11

3月イベントからだいぶ間をあけてしまいました。

7/3（土）、久々の『本読み会』online；を開催いたします！

読むのは安部公房『友達』、傑作です。

『本読み会』online ; 8

安部公房！

もぐら通信

『本読み会』 @honyomikai・3h

ドタバタコメディから薄気味の悪いドラマへと変貌を遂げる安部公房ワールド。「孤独だけど、つながっている」現代の危うさに光を当てているような戯曲です。

先日開催された『本読み会』online；8のレポートです。



『本読み会』 @honyomikai・Jul 12

昨年末に1シーンだけ読んだ安部公房『友達』、全シーン読みたいというリクエストにお応えいたします！

『本読み会』online
安部公房！

『本読み会』online；8（安部公房）のお知らせ | 『本読み会』
久々の開催は、昨年末の「密な『本読み会』」で1シーンだけ読んだ安部公房。全部読みたい！というリクエストにお応えしました！
@honyomikai.net

今月のワープロ

neon himorogi@ayasugi_z・Jul 11

その点、ワープロ開発に口出しまでした安部公房は…

Quote Tweet

笹本祐一@sasamotoU1・Jul 11

め切に追われるおかげでワープロ→PCへの乗り換えも出来ず、未だに手書きでベストセラー作家しておられるベテランを思い出す。田中芳樹、菊地秀行、夢枕獏、梶尾真治が笹本の中で手書き四天王。 twitter.com/rUyaCVtliRxcG9…

今月のバベルの塔の狸

素クール_bot@su_cool・Jul 9

わたしがいつも微笑んでいるのは安部公房の著書『壁』の中にある『バベルの塔の狸』で“微笑はどんな視線に対しても鉄の防壁となるのだ”という著述があったからだ。決して君のためではないぞ。

今月の村松英子

猫BANBAN@horse_sheep・Jul 10

The Face of Another (1966)

Eiko Muramatsu 村松英子

#他人の顔 #KoboAbe #安部公房



もぐら通信

今月の入江美樹

猫BANBAN@horse_sheep・Jul 10

The Face of Another (1966)

Miki Irie 入江美樹



今月のヤマザキマリ

ハム子@ImSayingOink・Jul 9

ナイス 【男子観察録 (幻冬舎文庫)/ヤマザキ マリ】安部公房、少年ジョズエ、おじいさまにテルマエ編集長。チェ・ゲバラ。幼い頃夢中に観た二次元がその後の恋愛生活にどれ程大きな影響を及ぼすか。ジョ… → <https://bookmeter.com/reviews/99325017>

安部公房、少年ジョズエ、おじいさまにテルマエ編集長。チェ・ゲバラ。幼い頃夢中に観た二次元がその後の恋愛生活にどれ程大きな影響を及ぼすか。ジョブスの話に垣間見える編集者とご子息のマリさんへの楽しい距離感。かの日のマリさんを窺い知れる山下達郎の項。美術への造詣の深さが有効活用された楽しいマン・レイ評。とりみき評。ラストの章は海外にひとりぼっちのハードさを胸に感じずに読めないのに、数章前の Pasta 屋の項は笑いしかない。襟を正される巻末解説が締めてくれる。

→ <https://bookmeter.com/reviews/99325017>…

#bookmeter



今月の大坪命樹

文藝同人無刀会 文フリ大阪出店します

Double exclamation mark@CoterieMutoukai・Jul 11

「鞭と人参」大坪命樹著。

大坪は、若いときに安部公房に感銘を受け、奇を衒ったような小説を、背伸びして書きました。絵画の影響を色濃く受けた、シュールレアリスティックな短編「眼」

「鞭と人参」が収録されています。

<https://mutoukai2014.base.shop/items/22392983>

今月の榎本武揚

xxxodarapelddap@@xxxodarapelddap・Jul 8

不謹慎ながら、熱気死→アツケシ→厚岸

と言う榎本武揚/安部公房の導入部を思い出した

日記に記した妻の「アツけない死」 被災後に体調悪化：朝日新聞デジタル



もぐら通信

日記に記した妻の「アッケない死」 被災後に体調悪化：朝日新聞デジタル

【岡山】西日本豪雨による県内の死者95人のうち、34人は災害関連死だ。この1年も新たに6人が認定された。被災後の心身の負担などで亡くなる人は少なくな
い。 真備町箭田の秋山忠明さん（85）は発災5カ月…

asahi.com

<https://www.asahi.com/articles/ASP777HHQP76PPZB00Z.html>



今月の石川淳

世田谷文学館@SETABUN・6h

【コレクション展「夷齋先生・石川淳」】

若き安部公房や加藤周一、福永武彦など石川淳を慕う後輩作家からの貴重な書簡は必見です。

会期:~2021年9月26日(日)

開館時間:10:00~18:00 (入場は17:30迄)

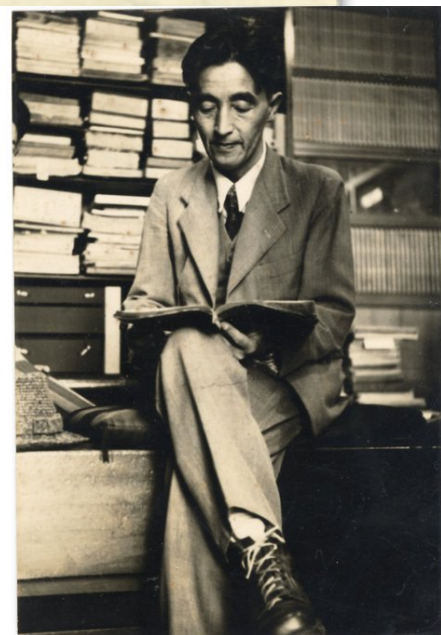
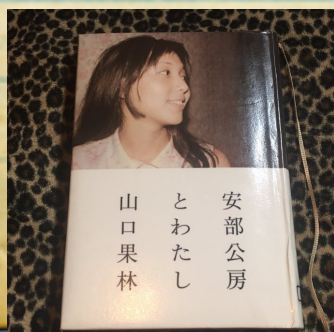
休館日:毎週月曜 (祝日の場合は開館、翌平日休館)

#世田谷文学館 https://setabun.or.jp/collection_exhi/20210424-0926_IshikawaJun.html

今月の山口果林

レディニンジャ@LadyNinja9_1・Jul 14

読了、図書館本。いわゆる暴露本の類とはちょっと違うような。愛人として長い間一緒にいた安部公房のリアルな人となりを残したかったのかな？果林の母と安部公房が亡くなるのが続くくだりが辛かった。年齢の離れた恋人も考えものじゃのう(勿論あっしには関わりのない話でござんす)



もぐら通信

今月の上演

aQuino@ak120000_p・Jul 10

うずめ劇場がシビウ国際演劇祭に参加します
そしてプレ公演をやります！

安部公房『砂の女』

現代社会で永遠に憧れた男と
絶望の中で希望を待つ女と
そのまわりのあらゆる人々の話。
わりとアドベンチャー
なんと

UAのオリジナルテーマソングもありますよ
AJICOのセーターの歌大好き

うずめ劇場 公演情報@uzaa_yaoki・Jun 3

うずめ劇場第35回公演
シビウ国際演劇祭2021
国内プレ公演

「砂女」

原作：安部公房
構成・演出：ペーター・ゲスナー

7月28日（水）13:00

7月28日（水）19:00

7月29日（木）13:00

会場：せんがわ劇場

ホームページ、予約フォームはこちらから

↓

<https://uzumenet.com/suna2021/>

もぐら通信

第132号（第二版）を発行しました。

ダウンロードは：<https://www.docdroid.net/phrxg0x/document>

P17:

訂正前：安部公房の祖父

訂正後：安部公房の従兄の祖父

<https://www.docdroid.net/phrxg0x/document>

追悼・田中邦衛

池袋で「網走番外地 望郷篇」「学校」「おとし穴」など9本上映

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ce6361ecaaa3c46d1ba469df680156c39edf972f>

6/27(日) 21:35 配信

田中邦衛を追悼した特集上映が、6月28日から7月5日にかけて東京・新文芸坐で行われる。

【画像】「人斬り与太 狂犬三兄弟」(c)東映 (他3件)

3月24日に88歳で死去した田中。今回の特集では、高倉健との共演作「網走番外地 望郷H」や、菅原文太と共演「若者たち」(c)日本映画放送した「人斬り与太 狂犬三兄弟」「トラック野郎 爆走一番星」「ダイナマイトどんどん」、山田洋次の監督作「学校」などがラインナップに並んだ。また、7月3日には特別レイトショーとして、安部公房と勅使河原宏がタッグを組んだ「おとし穴」もスクリーンにかけられる。

チケットは「おとし穴」のみ、上映3日前の10時よりオンラインと窓口で販売。そのほか通常上映の前売り券は販売されないため、注意しよう。

■ 追悼・田中邦衛 優しさとユーモアと

東京都 新文芸坐

□ 通常上映・2本立て

2021年6月28日(月)~7月5日(月)

料金：一般 1450円 / 学生 1350円 / シニア、
障害者、小学生以下(3歳以上) 1200円/
友の会 1150円

ラスト1本料金：一般、学生 1000円 /
シニア、友の会 950円



もぐら通信

<上映作品>

「網走番外地 望郷」

「若者たち」

「人斬り与太 狂犬三兄弟」

「トラック野郎 爆走一番星」

「ダイナマイトどんどん」

「浪人街（1990年）」

「学校」

「福耳」

※前売り券の販売なし

□ 特別レイトショー・1本立て

2021年7月3日（土）

料金：一般1300円 / 学生、友の会、シニア1100円（招待券可）

<上映作品>

「おとし穴」

※チケットは上映3日前の10時よりオンライン・窓口で販売

※オンライン購入料金は+50円

巻頭詩

(20)

『泥』

吉田一穂

自我系の暗礁めぐる銀河の魚。
コペルニカス以前の泥の拡がり……
睡眠の内側で泥炭層が燃え始める。

周辺飛行

(44)

3. 『周辺飛行』について(21)

周辺飛行42：道化的脱出劇

岩田英哉

この時期安部公房は、役者の肉体の訓練と科白の訓練の両方の充実を図つてみます。前者のためには、マリー・カウエルといふ女性をドナルド・キーンを紹介によりコロンビア大学より招聘して「俳優のためのモダン・ダンスのレッスンを受け」させて「着々と成果を上げている。」これについてはこの周辺飛行の直前にある『ドナルド・キーン宛書簡 第16信』に、安部公房からドナルド・キーンに宛てたお礼の言葉がある(全集第25巻244ページ)。

後者、即ち科白の訓練のためには、自らが「セリフ術の基本をもう一度洗いなおす」ために「セリフのための「術」の確立ではなく、むしろ「術」らしいものからの解放がねらい」の次のような訓練を若い役者たちに施してゐる。何故なら「こんどの上演(五月・西武劇場)は、まったく若手だけによる配役」だからです。ここから安部公房スタジオの後期が始まることが、これで判ります。この周辺飛行の発表は1975年4月1日。仲代達也や田中邦衛その他の既に名をなしてゐた役者たちではなく、本当に若い、従ひ無名の役者たちと組んで演出をした。

安部公房の演技論は、肉体と科白からなり、それぞれが生理及び「沈黙と言葉の接点」に対応してゐる。科白は沈黙と言葉の接点である。交差点といつても良い。これは、これまでの周辺飛行で読み込んで理解した通りの、此処でも、安部公房の演技論の自分自身による解説があります。この交差点は同時に時間と空間の交差点でもあること、即ち存在の交差点であることも、これまで理解して来た通りです。従ひ、この周辺飛行での安部公房の科白側についての指導上の意図は、役者に「沈黙と言葉の接点——それはまた対話の原点でもあり、関係としての人間が登場するための最初の扉」を理解してもらふことであると述べてゐる(原文は傍線は傍点)。即ち、

人間は何かと何かの函数である

と、安部公房は述べてゐる。この何かと何かが時間と空間でもよし、沈黙と言葉でもよし、男と女でもよし、「尊敬する者と、される者」でもよし、次に役者に課題として提出したAとBの役を演ずるといふ課題であつても良いのです。

この二人の役者の演ずるAとBの役割は、Aは能動者、Bは受動者といふ役割設定になつてゐます。「この関係は一方的で終始変らない。」

Aの役割：「AはBを誘導し、いかなる命令にも従わせることが出来る。」

Bの役割：「BはAの命令に積極的に服従し、いささかのためらいも見せてはならない。たとえAの要求に矛盾があっても、Bはその要求を満たすよう、全力をあげなければならない。」

このAとBの均衡する地点に、箱男が登場する。

読者であるあなたは、さう思つて理解をすれば、それは正しい理解であり、安部公房の演技論を理解したことになります。AでもなくBでもない、二項対立を超越して第三の道を行くあなたである。といふことなのです。

「Aは、次々と注文を重ねることで、Bとの関係を拡大するだけでなく、Bが忠実に自分の役割を履行しているかどうかのテストを行い、確認につとめなければならない。」と述べる安部公房の理論は、恰も安部公房が好きであつた宮澤賢治の童話『注文の多い料理店』の狼のやうである。しかし、少し考へて見れば解ることですが、これは私たちの日常生活そのものです。さうは思ひませんか？

この一方的な関係の拡大を徹底するとどうなるかといへば、二人の関係は「いずれAが自壊作用を起こして終りを迎える」。「Bにとっては、道化か馬鹿に徹すればすむことだ。そう理屈としては分かっている、実際に行うのはむづかしい。道化のふりまでは、なんとか辿り着けても、道化そのものに成りきるのは大変なこと」である。そして、この周辺飛行の最後の言葉「いくら課題のAの役割を巧みにこなせても、Bの役割に撤しきれなければ、まだ道化の資格は満たされないということだ」という安部公房の言葉からは、被命令者であるBこそが、このやりとりの果てしない、そして終局は破局であることが最初から自明の迷路を脱出する道化師になる潜在的有資格者だと考へることができる。振りをするのでは駄目で、成り切らねばならない。

この科白の迷路といふ関係も、考へて見れば、少々極端なやうに見えるだけで、実は私たちの日常の会話でさへもさうだと思ふことができるでせう。そしてこの迷路の構造は、安部公房の見抜いた通りの言語構造なのであり、私たちの会話は、そしてこれが輻輳した複数の人間たちの間の座談であれ、言語構造たるネスト構造、入籠構造たることからの脱出であり、言語による言語からの脱出劇だといふのです。ウエーの檻の中のウエーは外部に脱出するか、それもいいだらう、しかし、檻の内部の内部にも更に檻があるであらう。さうであれば、また内部への脱出もあるだらう。君はウエーである。さて、ウエーが脱出して人間になつたが、しかしそれは本当か？更に外部があれば君はまた今も其処でウエーなのであり、更に外部の内部を、また内部の外部を目指すウエーなのではないか？

かうして、人間そつくりの火星の話が、トポロジーの話として此処でもウエーは人間そつくりなのか、人間がウエーそつくりなのかといふ問題を解決するための穴を探す話になります。トポロジーといふ接続と変形の数学の成り立つ穴でありトンネルです。さて、さうして、解決は、ほら、目の前にある柵棒の間をリルケの歌ふ豹のやうに見てご覧といふことになるのです。その隙間、それが解決だ。さて、どうやって其の隙間を潜り抜けるのだ？この間は、いふまでもなく『S・カルマ氏の犯罪』の最後の場面で、ラクダに乗って砂漠に乗り出すユルバン教授とドクトルの間で忙（せは）しなく交はされる迷路といふべき対話に登場するラクダの穴と同じものです。いつてみればユルバン教授のみならずS・カルマ氏も此の穴を通つて、そして脱出に成功し、垂直方向といふ時間の存在しない方向に果てしなく成長する壁に変形する。即ち、S・カルマ氏を思へば、安部公房の次の言葉はS・カルマ氏の人生論といふべきものになつてゐます。

「もしかすると、「ウエー」の主題の一つは、道化による、道化の、道化的脱出劇なのかもしれない。」即ち、

あなたが山田太郎といふ名前の人間であるとして、周囲に思はれるやうな山田太郎を演じてもそれは本物の山田太郎ではない。「もしかすると、山田太郎といふ人間の人生の主題の一つは、道化による、道化の、道化的脱出劇なのかも知れない。」といふことです。

脱出劇が成功した時、あなたといふ「豹にとつては、恰も幾千もの棒が存在するかの如くであり/そして、幾千もの棒の背後には、世界は存在しないかの如くである。」（リルケの『豹』第一連）

安部公房は、このやうな一行二行の詩の発生は、このAとBの対話劇の「過程で、何度か沈黙から言葉がつくられる原点、とでもいふべき場所に触れる瞬間があつたはずなのだ。」と言つてゐる。つまり、安部公房は役者に詩の一行二行の詩を発声することを求めたのです。たとへ、それがどんなに日常の普段の言葉であつても其のやうである詩の言葉の発露を。

かういふところに来ると、安部公房の論理は詩的な飛躍をする。この言葉そのものが沈黙と言葉の交差点に立つて生まれるものでせう。安部公房は若い役者たちに自分と同じ経験をさせて、普段の言葉のままで思はず口をついて出て来る言葉として在る詩の本質を理解して欲しかつた。

「要約すれば、セリフとは、「相手に触る」ことなのだ。水のように、風のように、ナイフのように、針のように、鉄塊のように、火のように……相手に触ることなのだ。」

これは一緒に「世紀の会」を立ち上げた中田耕治が当時を回想していふ通り「本郷のバーで、安部さんと三島、花田清輝、加藤周一が大論争していたのを覚えています。そのころから安部さんの議論の展開は非常にポエティックだった。一九四九年頃のことでした。」とある通りの1975年の安部公房の変はらぬ姿です（贗月報2。全集第2巻附録）。

「要約すれば、セリフとは、「相手に触る」ことなのだ」といふ此の言葉も18歳の時の論文『問題下降に依る肯定の批判』の安部公房と変はらない。

「動かなくてはならない。そして動かさなくてはならない。手を、指を、そして目と鼻を。今こそ君は自由なのだ。」（『問題下降に依る肯定の批判』全集第1巻、15ページ上段）

この18歳の時の論文の副題は「是こそは大いなる蟻の巣を輝らす光である」といふものでした。蟻の巣とは、ネスト構造で内部と外部が脱出を幾ら重ねても激しく際限なく入れ替はる言語構造のことであり、しかし、それであるにも拘らず、この「蟻の巣を輝らす光」とは、数学ならばトポロジー、詩ならばリルケの詩であり、このどちらでも生理及び[沈黙と言葉の接点]の交差点で「今こそ君は自由」になる其処に射してゐるのだ、これが安部公房スタジオで教へた、役者の依つて立つべき存在の交差点であるのです。

何故道化師かといふことについては、これが安部公房が奉天で観た木下サーカス団で少なくともあるだらうこと、矢野サーカス団も同様に朝鮮半島から大連、奉天と巡業をしたので観た可能性は高いが資料が残つてゐないこと、また道化師はその摺鉢状の其処凹（『砂の女』の舞台です）で演ずる藝の合間合間の幕間に登場する隙間の人間、即ち道化師と安部公房が呼ぶのは安部公房の存在論の記号で表記すれば《道化師》のことであつて、平たい文である地の文に文字で書けば、存在の道化師であることは、既に『カンガルー・ノート』論で詳述しましたので（もぐら通信第66号から第84号）、此処では以上の簡単な言及に留めます。安部公房スタジオは、安部公房にとつての奉天で観て忘却の中から浮かび出して来る存在のサーカス一座であり贗家族でした。古新聞紙のやうに燃え上がる哀れな存在の仔象もまた其の摺鉢の底で大きな親たちの象の隙間に観たに違ひないのです。詳しくは上記の号をご覧ください。

『ミリタリィ・ルック』（全集第22巻、135ページ）および『あなたにトポロジー的哄笑を一帰属本能への挑戦小説「人間そっくり」』（全集第20巻、492ページ）については、また別の機会に論じます。同じ脱出劇については「カフカのこと — フランツ・カフカ「脱出を語る」（1953：全集第3巻、366ページ）と『私のカフカ』（第3巻、507ページ）も其の時併せて論じたい。

安部公房に來た日本共産党入党通知を復元する

岩田英哉

山本夏彦著『私の岩波物語』に、安部公房が日本共産党員であつた当時に日本共産党が書いて入党を承認した者に対して宛てた夏彦翁のいふ「辞令」が転載されてみて、その文面を知ることができましたので、この通知書をそのまま引用して、安部公房に宛て当時この作家の元に届いた筈の通知書を此処に復元したい。

驚くなかれ、これが候文なのである。

誠に日本共産党といへども、伝統と歴史の上に正しく品行方正に生きてみたのである。今この政党が自党の伝統と歴史を墨守して、候文で入党通知書を書いてゐるならば、私も少しは敬意を表したいと思ふが果たして如何か。筆でしたためてあれば尚素晴らしい。以下同書よりの引用であるが、通知文の少し前から引用する理由は、この岩波書店を起こした岩波茂雄といふ店主と小林勇といふ店主死後に社長にはならず会長職について茂雄の息子雄二郎を推して支へて岩波書店の実質的な経営を継いで店を繁盛させた男のことを予備知識として知つてゐると、岩波の一世を風靡した左翼雑誌『世界』といふ言論誌の成立の経緯と岩波書店といふ書店の性格がよくわかり、入党通知書に関する引用の段落も理解がゆくからです。この本には、岩波茂雄の商法について、何故漱石の全集が此の文豪の出版を一手に引き受けた春葉堂からではなく岩波書店から出たかなどなど興味深い逸話が、日本の出版業界を巡り印刷業界を巡り編集者を巡り有名人を巡り岩波書店を巡つて其の盛衰が書かれてゐるが、それでは一冊を引き写すことになるので止める。私の文章まで恰も山本夏彦調になるやうである。

「岩波書店主人の人物は理解に容易だが、小林勇はそうでない。何冊か小林の書いた本を読んだがいずれもよい出来である。自伝のたぐいはきれいごとにするが、人みな飾つていうのはやむを得ない。小林は岩波に何人かの婦人のいたことを明らかに書いていないことは前にいった。あばいて直（ちよく）となす風がないのを私は好ましく思っている。小林は「横浜事件」の一環で捕えられひどい拷問をうけている。戦後拷問した特高たちを訴える仲間にはいれといわれたが断っている。拷問したのは手足（てあし）で、それをさせたのは治安維持法である。今さら手足を訴えても仕方がない。

岩波茂雄は戦争中一度倒れたが回復した。戦争が終わったらさあこれからは自分たちの天下だと息吹きかえした。安倍能成も敗戦と同時に同志と共に総合雑誌の発行を思ひだした。すなわち「世界」である。岩波は喜んで引受けたが小林はその顔ぶれをひとめ見ただけで賛成しなかつた、古い。安倍能成、谷川徹三、山本有三たち

の時代はもう去った。新しい雑誌は新しいメンバーで出発しなければならないと思うのは当然で、その新しいというのは進歩的、左翼的ということで、戦後は急速に左傾すると見てとったのだろう。ジャーナリストである。

それでも「世界」は安倍能成を主幹に吉野源三郎を編集長に、その年の十二月に創刊された〔引用者：その年とは1945年・昭和20年です〕。はじめは保守的な雑誌として出たのである。すぐ売切れた。編集部に塙作楽（はなわさくら）がいた。塙は吉野の下に「世界」創刊から三年あまりいて、頭角を現したせいか追われてほかの部に移って結局十五年いたとその「岩波物語」（審美社）に書いている。別に昭和三十二年ごろの公安調査庁調べでは、岩波社員二百余名のうち共産党員は三、四十人、シンパを含めると八十人余名、全員の四割近くが党の同調者だったと書いている。塙は正式党員で共産党から辞令をもらっている。共産党も辞令を出すか、またそれが候文なのがおかしいからついでながらあげておく。

入党通知 氏名 塙作楽 一、決定 二十一年二月二十日 貴下ノ入党ヲ確認ス 右御通知申上候 二十一年二月二十日 日本共産党東京地方委員会
(印) 塙作楽殿」

この入党通知を元に、安部公房の入党通知といふ「辞令」を復元すると次のようになる。入党の月は後掲引用中〔註1〕に書いた調査結果から五月としておきます。

「 入党通知 氏名 安部公房 一、決定 二十六年五月●日 貴下ノ入党ヲ確認ス 右御通知申上候 二十六年五月●日 日本共産党東京地方委員会 (印)
安部公房殿」

この塙作楽といふ共産党員の編集者は、志賀直哉から「もらった原稿があの名高い「灰色の月」である。」といふ挿話もまた興味深い。

さて、安部公房が党籍除名処分を受けた日付は、もぐら通信が日本共産党に照会して回答を得たので、「もぐら通信編集部への日本共産党からの回答によって、1961年9月6日と判明しております（もぐら通信第16号『質問箱』、39～40ページ）。」以下、安部公房が入党した日付についての考察を第29号より引用しますので、上記入党通知の文面と共に記憶をあらたにしてほしい。

「安部公房が、共産党員になった日については、不明です。日本共産党に照会をしましたが、記録が残っておりませんでした（もぐら通信第17号『質問箱』、38～39ページ）。世間に流布している説は、1951年という年を言っております。今仮に、この年を日本共産党入党の年として措きます〔註1〕。北辰電機の労組書記長で『下丸子詩集』編集発行人の高橋元雄の言葉によれば、安部公房は1951年上半期の芥川賞を受賞した7月には、既に共産党員でありました（『贗月報』第3号、全集第3巻）。

〔註1〕高野斗志美は、「野間宏の推薦で、勅使河原宏といっしょに日本共産党に入党しています。」と書いています（『安部公房を語る』採録「安部公房の作品を読む(8)」、あさひかわ社刊。67ページ）

しかし、一般財団法人草月会の資料室に照会すると、次のような回答が参りました。2014年11月29日付のメールです。

「以下のような資料がございましたので、ご参考までに記載しておきます。瀬木慎一著『日本の前衛1945-1999』（2000.1.15生活の友社発行）には、安部らとともに1951年3月に入党申し込みをしたにもかかわらず、宏だけ受理されなかったということが記載されております。また、宏自身も、大河内昭爾、四方田犬彦とともに著した『前衛調書』（1989.8.25学藝書林発行）という鼎談集のなかで、家元の息子なので入党は勧められなかったと語っております。」

また、信州大学友田義行先生のご教示によれば、「勅使河原宏の入党（未完）については、桂川寛『廢墟の前衛』に詳しく書かれて」いるとのことでした。

このように考えて参りますと、安部公房は1951年3月に野間宏の推薦で入党の申請をしたが、その受理の正確な日付は不明、しかし、入党は、同年3月以降7月以前であるということになります。

木村陽子著『安部公房とはだれか』によれば、安部公房の入党については、「安部は五十一年五月、日本共産党に正式入党している。」とあり、それは、1951年5月となっています（同書、95ページ）。根拠が明示されていないのが惜まれます。」

安部公房の入党の動機は次のやうなものでした（『安部公房と共産主義』もぐら通信第29号）。

「何故安部公房は日本共産党に入党したのでしょうか。1950年代の文章を読むと、日本共産党の黨員になった動機と目的は、次の4つが挙げられます。

（1）典型的な人間としての詩人の意識と無意識の個人の在り方を、社会と人間の抑圧と被抑圧の關係にまで拡張して考えたこと。

『詩と詩人（意識と無意識）』（全集第1巻、104ページ）で確立した人間の典型としての詩人の意識と無意識の境域に在るその意識・無意識の在り方を、社会と人間の抑圧と被抑圧の關係にまで拡張して考えたこと。『シュールレアリスム批判』（全集第2巻、260ページ）と、もぐら通信第15号の『安部公房の変形能力14：シュールレアリスム』を参照下さい。

（2）生という混沌たる現実の背後に法則を見つけようとしたこと。『文学における理論と実践』（全集第4巻、314ページ。1954年6月30日）

(3) 言語の観点から、文学における理論と実践の統合を考えた事『文学における理論と実践』（全集第4巻、314ページ。1954年6月30日）。これは、

(2)と表裏一体の関係にあります。大変興味深いことは、このエッセイで、この時点でマルクス主義に決別することを考え、同時にそのことに迷い、悩みながら書いた『文学における理論と実践』で引用するレーニンとマルクスとスターリンの言葉は、みな言語に関するものであり、言語の観点からのものであることから、安部公房は、共産党に対しても、その言語観の証明と実現のために接近し、急激に左傾化して、その黨員となったということが判ります。

同じ考え、すなわち言語の側から考えるということは、『文学理論の確立のために』でも述べられています（全集第3巻、229ページ、1952年6月10日）。

(4) 日本の国に、言語の側から、革命を起こしたいと思ったこと『〈人物カルテ〉『社会新報』の談話記事』（全集第15巻、480ページ、1962年3月11日）。また、『偶然の神話から歴史への復帰』（全集第2巻、337ページ。1950年8月）参照。池田龍雄の『詩的発明家---安部公房』（『安部公房を語る』、あさひかわ社、144ページ）によれば、安部公房は、この言語の側からの革命のシナリオを思い描き、革命が1957年に起きると本気で、そう考え、思い込んでおりました。〔註23〕安部公房がこのことを池田龍雄に暗い小声で話したのは、間違いなく1955年2月25日以前の時点です。

つまり、以上4つのことを一言で言うと、言語の観点から現実を捉えようとしたということ、そして自分の言語観の正しさを現実の時代の中で実践的に証明しようとしたこと、そして、その正しさによって革命、即ち日本人の意識の根本的な変革を起こすことによって現実を実際に根本から変革しようとしたことが、安部公房入党の動機です。

大事なことは、徹頭徹尾、それが言語の観点からなされたということですが〔引用者：超越論的な革命です。安部公房の発見者埴谷雄高ならば存在の革命といったことに相当します〕。これは、共産黨員であった時代にも、終始変わらぬ、10代からの安部公房の姿です。

さて、そのために、詩人から散文家になるために、リルケの『秋』と並んで、10代からの安部公房の大好きな詩の一つであった『涙の壺』の水分を「蒸留」しようとしたのです（『世紀の歌』、全集第2巻、230ページ）。即ち、この詩は、詩としての、詩人から散文家になろうという決意の詩です。しかし、この個人的な決意の詩に、同時に社会的な意味を持たせた宣言文にするということが、既に安部公房自身の矛盾と分裂と破綻を示しています。安部公房はこの詩を1949年3月1

5日に発表しております。安部公房25歳。

この入党の動機を更に言えば、しかし、この間、安部公房は、マルクス主義の根底にある終末思想と箱舟思想に囚われたと言い換えることができます。これが、何故安部公房がマルクス主義にある時機から急激に傾斜して、日本共産党員になったのかという、マルクス主義の側から見た安部公房の持っている理由です。

マルクスとエンゲルスの書いた『共産党宣言』を読むとよく解るように、マルクス主義の正体は、終末思想であり方舟思想であることを、安部公房は、1953年9月10日に無残な文章を書いたときから『猛獣の心に計算機の手を』を書いた1955年2月25日までの1年半の間に見抜きました。

この二つの思想は、終生安部公房が繰り返して徹底的に批判し、否定した思想です。終末思想は、10代の安部公房によって、自分自身の位相幾何学の本質によって否定されており、また既にリルケの純粹空間によって詩の世界のこととして否定されており、方舟思想は、18歳の『問題下降に依る肯定の批判』で自分自身で明らかにした通りに、ニーチェに学んだ「概念から生への没落」という安部公房独自の実践的な思想によって、本来は否定されていたものです。

安部公房が、1953年には、マルクス主義のこの終末思想と方舟思想に何故囚われて、それはどのような無残な状態であったかは、『〈……私にわかった。〉』（全集第30巻、39ページ、1953年9月10日）を読むとよくわかります。安部公房も普通の20代の若者でした。生が安部公房に授けた青春の力に敗北したのです。[註5]

しかし、これらの動機が一番根底にある動機は如何にも安部公房らしい、成城高校時代の哲学談義を親しく交はした友、中埜肇に宛てて書いた次の手紙にある動機です。再掲します（『安部公房と共産主義』もぐら通信第29号）：

「安部公房は、『牧神の笛』で願った通りに、小さきものを思考するときには詩人であり、小ささを思考するときには小説家（散文家）であるという自分の念願を（全集第2巻、200ページ下段～201ページ上段。1950年5月5日）、マルクス主義の終末思想と方舟思想を否定して、これらを陰画としてみることによって、マルクス主義を陰画の媒介とすることによって、5年間を掛けて、ここに達成することができたのです。

一言でいえば、安部公房が詩人から散文家に変貌するために、安部公房はマルクス主義と日本共産党を必要としたのです。

中笠肇宛書簡第17信に「マルクスシズムはぼくのアンチテーゼではなく、ぼくの超えるべきものであるやうに思はれます。」（全集第2巻、333ページ。1950年4月20日）と、いつもの安部公房の論理で、マルクス主義は私を否定するものではなく、私の方こそがマルクス主義を超えるべきものだという、あれほど読み耽ったニーチェの『ツァラトストラ』に学んだ安部公房らしい論理で、それまでの自分の思想の統合への決意を書いてから5年の時間が経っていました。

安部公房は、この5年間の間に、『S・カルマ氏の犯罪』の主人公と同様に、胸の陰圧を使って現実をその眼から陰画として吸い込んで、陰画としてのマルクス主義を自己のものにしたと言い換えてもいいでしょう。従い、このマルクス主義のふたつの主題は、安部公房の胸の奥底で、終生の、重要な主題となりました。」

塙作楽の入党日付は1946年・昭和21年、33歳。安部公房の『宣言』といふ題名の詩の発表は1949年・昭和24年、25歳。日本共産党入党は1951年・昭和26年（多分）5月。『S・カルマ氏の犯罪』での芥川賞受賞は同年7月、27歳。

安部公房は岩波書店の此の『世界』に後年傑作『第四間氷期』を発表してゐます（1958年・昭和33年7月号から翌年3月号）。もはや、此処まで安部公房の超越論を論じて来れば、読者にはいふまでもないことでせうが、この長編小説の題名自体が、氷期と氷期の第四番目のスキマといふ意味ですから、下（くだ）れば賀茂真淵の〔註A〕、上（のぼ）れば未来の私たちの、いづれにせよ超越論的世界観を、只今といふ今と今のスキマである中今に示してゐます。

〔註A〕

賀茂真淵の超越論については『繩文紀元論（14）』（もぐら通信第131号）の「I 国学の超越論：賀茂真淵と本居宣長の超越論」にて解説しましたのでご覧下さい。

〔註B〕

20世紀日本人名事典「塙 作楽」の解説：
塙 作楽（読み）ハナワ サクラ

昭和期の小説家、郷土史家、編集者 茨城文芸協会会長；元・茨城県歴史館史料部長。

生年大正2(1913)年10月1日 没年平成2(1990)年11月7日

出生地東京市京橋区(現・東京都中央区)

学歴〔年〕東京帝大文学部東洋史学科〔昭和15年〕卒

経歴貿易統制会、東亜研究所、三井精機勤務を経て、昭和20年岩波書店に入社。21年創刊の雑誌「世界」の編集に携わり、岩波労組の委員長を務めた。36年退社。38年からは茨城県嘱託として「茨城県史」の編纂事業にあたる。48～55年茨城県歴史館史料部長、茨城県文芸協会会長などを務めた。著書に「茨城の近代史」「茨城の文学」「地方文化論への試み」、「岩波物語—私の戦後史」、小説集「暗い夜」などがある。（<https://kotobank.jp/word/塙%20作楽-1652741>）

目次

Part I 塔の文学

1. 森鷗外の塔と夏目漱石の塔
2. 江藤淳の塔と三島由紀夫の塔
3. 三島由紀夫の塔と安部公房の塔
4. 安部公房の塔と埴谷雄高の塔
5. 小林秀雄の塔と安部公房の塔
6. 安部公房の塔と大江健三郎の塔
7. SF文学史を伝統的な日本文学史に上位接続 (conjunction) する
 - 7.2 一体二つの文学史はいつ何処で上位接続して一体となつたのか
 - 7.2.1 何故川端康成は安部公房の『壁』を芥川賞に推したのか
 - 7.2.2 「安部公房の読者にしか書けない『美しい星』論」から引用して、二つの文学史の同時代性の重なるの文学的な潮流を吟味する
 - 7.3 ヨーロッパの近代小説とは一体何であつたのか？
 - 7.4 そもそも日本文学に云ふ小説とは何か
8. 安部公房の塔と倉橋由美子の塔
9. 夏目漱石の塔 (F+f) と安部公房の塔 $\neg(F \times f)$

Part II 『文章読本』論

Part III 実践篇：小説『S・カルマ氏の逆襲』（英訳版『The Fight Back of S. Karma』：ドイツ語版『Der Rückschlag von Herrn S. Karma』）：S・カルマ著〔翻訳〕岩田英哉

8. 安部公房の塔と倉橋由美子の塔 (4) : 5. 『パルタイ』論

数学的頭脳を持った作家がゐて、数学的な形象・イメージを以て言語化するさういふ作家がゐるのだ、と、さう思つて下さい。安部公房の読者にはいふまでもないことですし、これまでも論じて来た作家の中では荒巻義雄氏のメタSF小説群が全てさうでした。ましては、同氏の詩についてはいふまでもありません（詩集『骸骨半島』）。といふことは、安部公房についても同じ（詩集『無名詩集』）、倉橋由美子も同じです（但し此の作家に詩集の刊行はない）。倉橋由美子については、前の章のトポロジーやフォン・ノイマンの書籍を挙げてゐる箇所の引用をしましたから、これで此の作家の資質と好みといふものは十分に私たちは理解することができます。

この種の作家の常として、倉橋由美子もまた、安部公房と同様に、この作家独自の超越論的存在論または存在論的超越論の記号を工夫して、最初の作品『パルタイ』

に使つてゐます。これは、個別の経験を抽象化して現実の世界で一般化 (generalize) するといふよりは、もつと形象・イメージの世界に位相を転じて普遍化 (universalize) したいといふ作家の欲求によるものです。従ひ、その結果は非常に、表現としては過激なものになるのです。一般化するだけでは、読者は日本国内に留まるかも知れませんが、普遍化すれば、読者は世界中にゐることとせう。安部公房流にいつて、日本語の特殊に徹して普遍に至ればといふことではありますが。今ネットで調べると次の作品が英語にまたはドイツ語に翻訳されてゐます。

- (1) スミヤキストQの冒険 (英語)
- (2) 『首の飛ぶ女』と題した短編集 (英語)
(多分同作品を含む怪奇短編集)
- (3) アマノン国往還記 (ドイツ語)

『パルタイ』の中から、この作家の超越論的存在論の記号《 》といふ偶々記号の形象としては安部公房の存在論の記号二つのうちの存在を表す記号を用ひてゐます。いふまでのないことですが、安部公房の場合は〈 〉は現存在の記号です。倉橋由美子の存在論の記号に囲まれた語彙を列挙した後に、この作家の存在概念の解説をします。列挙する順序は小説の中に最初に出てきた順序です。

- (1) 《経歴書》
- (2) 《組織》
- (3) 《信じる》
- (4) 《寮》
- (5) 《現実》
- (6) 《学生》
- (7) 《軍人勅諭》
- (8) 《完全》
- (9) 《完全さ》
- (10) 《なかま》
- (11) 《必然性》
- (12) 《だから》
- (13) 《なければならない》
- (14) 《組合》
- (15) 《工場》
- (16) 《労働者》
- (17) 《労働学校》
- (18) 《専従》
- (19) 《組合員》
- (20) 《地区委員会》

- (21) 《M事件》
- (22) 《同志》
- (23) 《学習サークル》
- (24) 《熔銑》
- (25) 《種》
- (26) 《進歩的詩人》
- (27) 《詩人》
- (28) 《職場の文学サークル》
- (29) 《批判》
- (30) 《物》
- (31) 《日和見的態度》
- (32) 《革命》
- (33) 《機関》
- (34) 《推薦人》
- (35) 《細胞》
- (36) 《活動家》
- (37) 《パルタイ員証》
- (38) 《喜劇》
- (39) 《セツラー》
- (40) 《合宿》
- (41) 《軍隊生活》
- (42) 《オント》
- (43) 《なかま意識》
- (44) 《経歴》
- (45) 《セクト主義》
- (46) 《祭礼》
- (47) 《秘儀》
- (48) 《プチブル》
- (49) 《奉仕》
- (50) 《友愛》
- (51) 《組合調査》
- (52) 《S石油》
- (53) 《情宣部》
- (54) 《所帯》
- (55) 《文学サークル》
- (56) 《工作》
- (57) 《原水爆禁止大会》
- (58) 《警官》
- (59) 《拷問》

- (60) 《掟》
- (61) 《救済》
- (62) 《革命の必然性》
- (63) 《信仰》
- (64) 《馬の骨》

以上の存在論用語を分類する、即ち類二分ける、即ち似た物同士を集めると次の通りになります。(分類のもう一つの半面は類三分ける、です)

A パルタイ

- (1) 《経歴書》
- (2) 《組織》
- (3) 《信じる》
- (10) 《なかま》
- (14) 《組合》
- (15) 《工場》
- (16) 《労働者》
- (17) 《労働学校》
- (18) 《専従》
- (19) 《組合員》
- (20) 《地区委員会》
- (22) 《同志》
- (23) 《学習サークル》
- (31) 《日和見的态度》
- (32) 《革命》
- (33) 《機関》
- (34) 《推薦人》
- (35) 《細胞》
- (36) 《活動家》
- (37) 《パルタイ員証》
- (39) 《セツラー》
- (40) 《合宿》
- (43) 《なかま意識》
- (45) 《セクト主義》
- (48) 《プチブル》
- (51) 《組合調査》
- (53) 《情宣部》
- (56) 《工作》
- (57) 《原水爆禁止大会》

(60) 《掟》

(62) 《革命の必然性》

B 学生

(4) 《寮》

(6) 《学生》

(10) 《なかま》

C 軍隊

(7) 《軍人勅諭》

(41) 《軍隊生活》

D 抽象概念

(8) 《完全》

(9) 《完全さ》

(11) 《必然性》

(30) 《物》

(42) 《オント》

E 論理

(12) 《だから》

(13) 《なければならない》

(29) 《批判》

F 現実

(5) 《現実》

(21) 《M事件》

(44) 《経歴》

(52) 《S石油》

(54) 《所帯》

(58) 《警官》

(59) 《拷問》

G 隠喩 (メタファ)

(24) 《熔銑》

(25) 《種》

(64) 《馬の骨》

H 文学

- (26) 《進歩的詩人》
- (27) 《詩人》
- (28) 《職場の文学サークル》
- (38) 《喜劇》
- (55) 《文学サークル》

I 宗教

- (46) 《祭礼》
- (47) 《秘儀》
- (49) 《奉仕》
- (50) 《友愛》
- (61) 《救済》
- (63) 《信仰》

これらを大きな見出しのみを抽出して列挙すると次の通りです。

A パルタイ

B 学生

C 軍隊

D 抽象概念

E 論理

F 現実

G 隠喩 (メタファ)

H 文学

I 宗教

以上を見ますと、倉橋由美子は弱冠二十歳でパルタイの名前の元にある言葉を中心にして、二次的な用語であるBからIの言葉を布置して、パルタイといふ現実には日本共産党であります。しかし現実の此の政治的な政党では全くなく、《日本共産党》と化して、即ち地の文にそのまま文字として書くパルタイとして描いたといふこととなります。《M事件》などとは十年後の三島由紀夫の事件の予言とすらいひたくなりますが、しかし、このパルタイはもはや現実のパルタイですらない。この虚構のパルタイの世界を成立せしめてある、それでは倉橋由美子の存在論のオント・*onto*・存在とは何かといふ話に入ります。

以下の引用を読みますと、倉橋由美子にとっては*onto*・オントとは、ほとんど恥といふ感覚と同義であるやうに読めますが、如何か。私が恥といふのは中核にある言葉をいふのではあります。しかしそれ以外それ以上に、関連して概念連鎖をなす

その他の言葉もまた其処に結晶してゐるのです。つまり、倉橋由美子の存在概念は、安部公房の存在概念に比較すると、作家の生理的な感覚と分ち難い。安部公房の場合にはこれを存在と現存在の二つに分けて、前者は時間の存在しない世界、後者は現実の時間の存在する世界として両者の極端な二項対立を超越する汎神論的存在論ですが、これに対して、倉橋由美子の超越論は、同じ汎神論的存在論といつても、このやうに作者の生理的な生きることが恥ずかしいことだといふ感覚と分ち難く小説の、虚構の世界を生み出してゐる。このやうに対比的にいふことができます。これが一体作者にどういふ意味を持つかのかの説明は私にはできません。作者には作者の流儀の孤独があるからです。これは安部公房の書評した『聖少女』の最後のところの引用です（傍線は引用者）：

「このときぼくはやや冷静をとりもどいていたので、未紀を**ぼくの意識で捕獲して**たえまなく愛撫するという存在論的な欲求のほかに、ぼくがあるきわめて卑俗な希望によつても動かされていることに気づいていた。つまり、結婚という所有の形式は、未紀のような高級種の女（ぼくの意味するところは、雑犬ではなくてコリーやプードル、テリア、というのとおなじことである）を所有する場合、ことのほか重要だということをぼくは知っていたし、はじめて未紀をみたとき以来、この種の女と結婚の契約をむすぶことに心からあこがれつづけてきたのである。（略）しかし**ぼくのようにいかがわしい家庭や貧乏の恥に憎悪をもやして生きてきた人間にとって愛というものがしばしばそうした形をとるのはやむをえない。**」（新潮社単行本『聖少女』227ページから228ページ）

高知の実家の隣近所の人たちに倉橋歯科医院のお嬢さんと呼ばれてゐた倉橋由美子が「いかがわしい家庭や貧乏の恥に憎悪をもやして生きて」わけではありません。このやうな文章そのものが、この女性のontoなのであり、現実ではなく、位相をズラした、倉橋由美子に固有の話法「わたしのなかの「かれ」へ」を駆使した物語の世界なのです。

処女作に現れた存在論の記号は、その後はどうやら「わたしのなかの「かれ」」のいふ言葉はカタカナで記述され、その後は安部公房と同様に地の文の中に溶け込んで作者の「わたし」の感覚の中に生きるontoになつてゐます。三島由紀夫の死後の桂子さんものではカタカナは会話の直接話法の中に生きてゐる。『英雄の死』を書いた倉橋由美子です。当然三島由紀夫の作品は読んでゐます。このカタカナは、安部公房の場合と同じく、異界に棲む「かれ」の声を巫女たる話者が捉へて文字にした声です。三島由紀夫の場合ならば『英霊の声』の話法といふことになりませう。

最後に、この論考の動機（モチーフ）である塔について、しかしこれらのピース（かけら）を上手く詳細に上述の枠の中に入れるには何処にどう入れたら良いのかわからぬままに、幾つか作品群の中から抜き出して列挙してみます。「雲の塔」は既

に引用しましたので、とはいへやはり土佐高知の太平洋の海の二つ目の雲の塔から始めたい。このような塔は皆、この作家の詩魂の棲む、三島由紀夫の塔と同じ性質の高みの塔であると私は思ふ。

「夏の終わりのある午後、木原氏はこの頃の東京では珍しい、磨きたてたように輝く入道雲を眺めながら、高い建物の最上階にある店でシェリーを飲んでいた。」（『幽霊屋敷』冒頭の第一行）

「Qは格別の確信もなしに本館と思われる建物を選んで近づいていったが、Qがそう判断したのは、それには何かの塔のようなものが附属していたからである。（略）しかしよくみると、（略）これらは、建物を将来高層化するためか、もしくは本来高層型建築として建てはじめたのを途中で中止したためか、何かの理由で醜い角のように突きでている柱にすぎなかった。それにしてもこの擬似的な塔のおかげで、建物は時計台をもった学校の本館を思わせるある種の威容をそなえていたのである。」（『スミヤキストQの冒険』の「H感化院」冒頭第一段落）

不思議なことに、この塔は大江健三郎の『洪水は我が魂に及び』の塔と埴谷雄高の『死霊』の冒頭の癡狂院の時計塔を二つ併せた塔になつてゐる。

これも不思議なことに、倉橋由美子は『わたしのなかの「かれ」へ』の中のエッセイの一つに森鷗外の描いた「沈黙の塔」に言及してゐる。

「そういえば、鷗外に危険な書物を読む人間を殺して死骸を塔に運びこむ蛮族の話を書いた短編がありましたね」

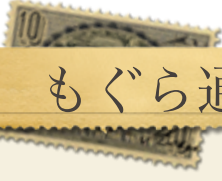
「『沈黙の塔』でしょう。Parsi族は自然主義と社会主義の本を読むやつをどんどん殺したが、いまならヌーヴォー・ロマンと実存主義の本を読むやつが撲滅の対象ということになるかな。」（「文学的人間を排す」同書426ページ下段）

いふまでもないことには、この鷗外が明治時代に書いた「沈黙の塔」を巡つては二十一世紀の今も此の塔は生きて、人間を大量に殺戮した後に死骸が搬入され続けてゐるといふことです。

倉橋由美子の辛辣なる筆は次のやうに此の後続きます。いふまでもなく、こんなことは恥であり、恥づかしいことであり、恥づべきこと、ontoなのである。

「でもそんなのは蠅みたいなもので、寒くなれば自然に死に絶えてしまうのではありませんかしら」

「いや、いまは冬のない時代だから、三派蠅、ベ平連蠅、フーテン蠅といった不愉快な蠅がいつまでも飛びまわる。戦後の教育という肥溜めのあるかぎり蛆の発生は防げませんよ」



9。夏目漱石の塔 (F+f) と安部公房の塔 (F x f)

(次号に続く)

糞尿と性愛の文学

～生殖器・排泄器同一社会論仮説～

(3)

岩田英哉

1。古事記の中の糞尿と性愛

1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）



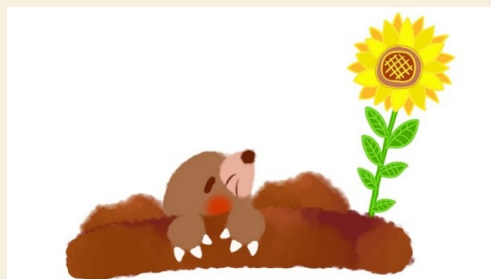
7.4.3 何故極左・共産主義者たちは都市を狙ふのか

岩田英哉

目次

- 0. はじめに
- 1. 国家とは何か
- 2. 用語の定義
- 3. メディアとは何か
- 4. ネット・モナド論
- 5. 公私とは何か
- 6. 二階層戦争論とメディア論の関係
- 7. 政治形態と自由
 - 7.1 政治形態とは何か
 - 7.2 自由とは何か：私たちの自由およびlibertyとfreedomの違い
 - 7.3 ビルダーベルク会議とダヴォス会議と国家との関係
 - 7.4 メディア・プロパガンダの構造
 - 7.4.1 中国の超限戦の手口について
 - 7.4.2 ネット大衆と情報の真贋
 - 7.4.3 何故極左・共産主義者たちは都市を狙ふのか
 - 7.5 政治形態EとAの公私：一神教のtopologyの政治形態
 - 7.6 政治形態Jの公私：高天原のtopology（超越論）の政治形態
- 8. 経済形態と自由
 - 8.1 経済形態とは何か
 - 8.2 資本主義と政治形態Jを如何に一つにするか：江戸時代幕藩体制下の信用取引に学ぶ
 - 8.3 ネット・メディアの役割
- 9. 私たちは如何に生きるべきか
 - 9.1 学歴無用論：盛田昭夫著『学歴無用論』
 - 9.2 学問有用論：福沢諭吉著『学問のすすめ』
 - 9.3 グローカリストとしての千利休と後裔たち（令和時代の人間像）

7.4.3 何故極左・共産主義者たちは都市を狙ふのか



サンチョ・パンサを求めて

(12)

お注射記念日

岩田英哉

俵万智さんの世に出る契機となつたサラダ記念日といふ歌があります。

「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日

この伝で今の世相について同類の歌を私が作ると次のやうになる。

「このお注射がいいね」と君が言ったから●月●日はお注射記念日

かう戯れ歌を作つてみると、1987年発表の俵万智さんの歌は最初はこれは和歌ではないな、それなら短歌だらうかと疑つてみた理由を此の歌に尋ねれば、勿論5と7といふ様式に倣はず字余りだといふことがあります。私の感じはさういふことではなく、要するに言葉が日常語であるからでした。つまり、万葉以下の和歌集の古典を下敷きにする意志がない。斎藤茂吉の短歌に比べてもやはり違ふのは、古典的な言葉の持つある力とは無関係になりたつてゐるし、そのことに全く悪びれる様子もないからです。そして更に、あれ、これはなんとか、和歌ではないが短歌にはなり得てゐるなと思つたのは、これが恋の上になりたつてゐるからで、これはやはりかうしてみれば恋の歌である以上和歌の伝統の上に平俗語を使ひ平俗な感情の上にてあれ和歌ではなく短歌が成り立つてゐることを知つた次第なのです。

随分と理屈を続けるとお思ひでせうが、さて、さう納得した上で申し上げれば、私の戯れ歌の方で●月●日としたのは、何も特定の日をいふのではなく、何故なら日本人はいつもお注射を外部からされなければ気の済まない、誠にお注射の大好きな、古来民族のやうに自分でも思つて来たからである。私が子供の頃、大宅壮一といふ有名な評論家が、外圧がかかると日本人は緊張して慌てて行動するので（例「バスに乗り遅れるな」といふ合言葉）、瓊瓊杵尊（ニニギノ・ミコト）の天孫降臨に掛けて、日本人は天孫民族だからテンション民族（緊張民族）だといつて、これが流行語になつたことがあります。この悪癖は、安部公房が孤軍奮闘して来たにも拘らず、いつになつても治らぬ、治らぬなら此れは果たして隠喩（メタファ）ではない実際の病と呼ぶべきものなのであらうかと自問自答するのは、それでは余りに情けない我が国民の姿であるので、これは一体どうしたものかと思案橋を渡りながら恋もせず、筆を執つてゐるからです。ビートたけしの漫才から生まれて今も生きてゐる言葉に、

赤信号、みんなで渡れば怖くない

といふのがありますが、現在も此の同調圧力に弱い国民性は変はらない。

私がいひたいのは、国民が注射を打つのも私的に打つ場合と公的に打つ場合と二つあるのだということを実問題として初めて後者の例を目の当たりにしたといふことです。これは今の日本の政治も経済も日米軍事同盟にあつて中国の侵略甚だしく、日本の国が中国に通じてゐてアメリカにとつて日本がsecurity holeになつて情報が抜かれてゐる国家安全保障上の問題の解決に通じてゐる。つまり、安全保障も公の安全保障もあれば、我が身を護る安全保障もあるだらうといふことです。

ビートたけしがツー・ビートといふ漫才コンビの結成は1972年と云ひますから、これも三島由紀の死後二年目で、この一世を風靡したコンビの出現もまた、きつと歴史上私たちの姿の何かを表してゐることとせう。そして、1980年といふバブル経済といふ時代に、この赤信号のギャグが流行したのは、これも象徴的なことでした。その結果どうなつたかは歴史に残つてゐる通りです。この1980年代がどのような幻想のバブル経済の大量消費の過ぎた時代であつたかは、井尻千男著の次の二つを贖（あがな）つてお読み下さい。批評とは若い者の仕事ではないといふことが判ります。昔の財界人（今の銭ゲバ経済人ではない）は偉かつたので、四十、五十は鼻垂れ小僧といつてゐた。

(1) 消費文化の幻想 オーソドックスとは何か？ (PHP研究所刊)

(2) ベストセラー書評社会学 流行の言説 不易の思想 (同上)

また、この十年間は1979年に『風の歌を聴け』で村上春樹が登場した後に流行した年代という文学史的には理解がしやすいとせう。つまり、イラストレーターわたせせいぞうが同じ時代を共有して描いた其の色彩ならば、どこにも有り得ない（日本にもアメリカにもないが）偽アメリカ風の、当時の日本人のパステル・カラーの生活です。さう考へてみれば、確かに俵万智のサラダ記念日の短歌はパステル・カラーの、生活の無い歌を歌つてゐる。そして、「マンハッタンにそびえる高層ビル群、ロックフェラーセンター。冬の巨大なクリスマスツリーやスケートリンクで知られる観光名所だが、三菱地所は1990年に」この高層建築を買収して（「米国の魂買った」平成の日本勢＝NY不動産で再び存在感：<https://www.nippon.com/ja/news/yjj2019031800932/>）日本の繁栄は終つた。これはいけないと、さう私は当時思ひました。何故なら文化のないアメリカでは都市の高層建築物は文化財だからです。エンパイアー・ステートビルに野蛮な（風に演出をされてゐる）キング・コングが登るのには理由があるのです。三菱地所の野蛮な経営者は、此れが何を意味するかなど理解ができなかつた。教養がなかつたのです。

さて、当時前述の俵万智の歌集が出版されて生まれた流行を追つて、筒井康隆が素早くも、ヤクザ・極道を題材にした『カラダ記念日』といふ短編小説を発売したの

で、腹を抱へて笑ひながら読んだ記憶がある。この筒井康隆のパロディ精神を活かせば、まだあるぞ。幾らでも記念日は出てくる。サラダが外来のものならば、アメリカザリガニも外来、ブラックバスも外来、カミツキガメも外来、日本国憲法も外来、みよ我が環境省も外来は「侵略的」だとお墨付きを与へてゐるぞ（環境庁ホームページ「日本の外来種対策」：<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/invasive.html>）。押し寄せる有象無象の大陸の思想もまた外来種である。

「この思想がいいね」と君が言つたから、●月●日は思想記念日

「マルクスがいいね」と君が言つたから、●月●日はマルクス記念日

「ポスト・モダンがいいね」と君が言つたから、●月●日はポストモ記念日

いふまでもないが、●月●日とは、一年中365日といふ意味である。

一体「このお注射がいいね」と誰が言つたのであろうか？今の政治家は無責任だから主語を明確にしようとしな。従ひ、もののいひやうは主語の無用な命令形になるので、西村何某大臣のやうな金融機関を使つて庶民の働く中小企業を恫喝する言辞を弄して憚らないのである。「言辞を弄して憚らない」などといふ古典的な慣用句を使ふのも、勿体ない。勿体ないといふ言葉を使ふのも勿体ない。救いやうのない政治家たちである。私は元々品の良い若者であつたが、歳と共に品下り、政治家や官僚や経済人たちの悪口をいひ、しばしば罵詈雑言を吐き、罵倒してゐるうちに、全く恥の感覚もなく良心も痛まないし後悔もしないし悪いとも思はない人間になることができたので、ひよつとして人間には良心などといふものは、文部科学省の授け給ひし有り難き公教育の教科書では有るのだと教はつたが（特に裁判官には）、しかし其の教科書の説明は間違ひであり、実は人間には良心は無いのだと仮定して世間を眺めると、国内も国外も皆起きてゐることの説明が容易に付くといふのは、私の人間理解が正しいといふ証明ではあるまいか。

この人間性を巡る問を前にして、ここでも安部公房と三島由紀夫の対談『二十世紀の文学』を参照して次の会話について考へることになるのです。主語の不明な文が一人歩きすること、そしてそれに無感覚になつて慣れてしまひ、何だか自分でもわからぬものを受け入れてしまふことを、二人はconformity・コンフォミティー・同調圧力と呼んでゐる。要するに、同意を大衆に要求する何かに関する圧力の大衆化の問題です。これに抗するのは、言葉の人間しかない。

この対談は、この同調圧力といふ語を巡つて次のやうに交はされる。議題は、言語と映像の関係です。これがTV・映画の時代であれ、今のネット時代の映像であれ、問題の本質は少しも変はらない。私が『ネット・モナド論（18）』（もぐら通信第133号）で「ネット大衆と情報の真贋」と題してお話した問題です。

当時1966年、既に今の中華製武漢産ウイルスを巡るのと同じ同調圧力が文学の世界で、特に二人の間で、この場合この対談にあつて問題であつたことがわかります。三島由紀夫の発言は次の通りです（傍線引用者）：

「言語と映像の問題は、たとえばジェームス・ジョイスが『フィネガンス・ウェイク』でやっちゃったようなものを、ある意味では映像やテレビジョンが、妙な形でやっちゃった。そうすると人間が、言語を破壊するような映像に対して恐怖心をもたなくなつて、映像がまず先にきて、言語があとからくるということに慣れちまう。そういう現象が、いまことに、非常に怒っているけれども、（略）まずイメージが与えられるということに、人間が慣れちまった。そうすると、またそこでも再び〔引用者：フロイトの〕精神分析と同じ通俗化が起つて、そういう映像を通して、人間を規制したり、一般的なコンフォミティーに準じた映像を与えることによつて、人間精神の自由を奪つて、一つの同じ水路へ人間を向けていくという、大きな動きができる。」（全集第20巻、57ページ）

この三島由紀夫の発言は、今まさにドンピシャリで現在の日本の国と国民の現状を言ひ当ててゐます。そして更に、上記引用の前後にある三島由紀夫の言葉を敷衍して二十一世紀の今に、ネット上に氾濫する仮想現実の動画情報に応用すれば、三島由紀夫によるそもそも文学といふ言語藝術活動の立場は、次のやうになります：

「この映像とイメージによるコンフォミティー・同調圧力の大衆化によつてフロイトの通俗化した精神分析と同じやうに科学を装つて通俗化した科学風の偽知識が、人間の自由を奪ひ、人間を大衆化して一つの水路・チャンネルへと私たちに仕向けていくといふ大きな動きになるコンフォミティー・同調圧力には、文学はどうしても反抗せざるを得なくなつて来る。二十一世紀文学は、ネットと映画の「二つの映像の面からの、コンフォミティーの圧力、それから性のことを加へると、性の面からのコンフォミティーの圧力、両方に対抗しなければならない。」

三島由紀夫が此の対談に冒頭から積極的な姿勢で臨んだ目的は、小説・詩文・戯曲・哲学の領域であらゆる接点を共有していながら互いにすべての接点で正反対の方向を向き、或いは接点そのものの陰陽が裏返っている（「彼との接点は、全部うらがえしになっている。」全集第29巻、73ページ下段）誠に親しき友安部公房との対話をするることによつて、自分の（結果として）1970年・昭和45年の死までの間に定めた文学的な主題四つの正しさを検証することでした。

その四つの主題とは、性、言語、行動、イメージの四つであり、これはその後の作品を貫いて最後の歳の池袋東武百貨店での展示企画『四つの河』の主題となるものです。この四つの主題を三島由紀夫が新たに立てて文学的な出直しをした原因が『鏡子の家』（1959年）に対する文壇での無理解と不評にあつたこと、それが

一体この作家の人生をどのやうに何故狂はせ、あの死に至らしめたかは『安部公房の読者にしか書けない「美しい星」論（後半）』（もぐら通信第102号）で詳細に論じましたので、これをご覧下さい

さう、武漢産中華謹製ウイルスのための注射をせよといふ同調圧力の話でした。確かに、ネット上での映像とイメージによる同調圧力の大衆化によつて科学を装つて通俗化した科学風の知識が、私たちの自由を奪ひ、私たちを二十世紀に引き続き今世紀にあつてもまた大衆化して一つの水路へと私たちを仕向けていくといふ大きな動きになる同調圧力といふ此の事実は、そのまま今の現実に当て嵌まる分析です。

さて、ヨーロッパとヨーロッパの鬼子であるアメリカの此の問題は、これまでも様々な論考でキリスト教の中世を暗黒の時代と呼んで近代の自分達の歴史の捏造をしたヨーロッパの偽善と虚栄心に発して此れが広義の共産主義の原因であり、その後の彼奴等の思想史をみると此処からカントのあと非連続的にフィヒテがあつて（カントの無視・黙殺と呼んでも良い）フィヒテからヘーゲルのロマン主義哲学といふべき擬似・偽哲学が生まれ（再帰動詞の濫用）、その後マルクスによる共産主義が二十世紀を席卷し猖獗を極めて大勢の人々を殺戮して恥じることなく、今日に依然として中国共産党が蟠踞し、また共産主義欧米変異種株である political correctness 他の文化を政治と悪意を以つて混同する文化破壊、もつといへば毛沢東のおこなつた文化大革命の問題が世界各国で起きてゐることは、あなたもご存知の通りです。Cancel Cultureといふ極左・共産主義者の文化破壊の合言葉は、これが命令形ならば、その意味は文化を契約の集合と見做して其のやうな文化的契約を解約せよ！といふ意味になりますが、しかし、このやうに言葉の意味を解釈しようとしても、文化的契約などという概念はなく、これは空疎であり無意味です。文化は契約の問題ではない。もう一つの解釈は、契約を解約することが文化だといふ標語でありスローガンであると解することですが、しかしこれもキリスト教を否定してまたは離れて個人間の契約によつて契約による自由な自治を認めて商業と産業を発展させようといふ近代の欧米の白人種の、キリスト教に対置した近代国家造営の考へ方ですから（「契約自由の原則」または「私的自治の原則」）、その母体であるキリスト教徒ではない私たちと日本の国には直接は何も関係がなことです。これはキリスト教文明の苦しみです。私たちはとぼっちりを受けてゐる。私たちはキリスト教の神父たちが日本人を奴隷として海外に売り飛ばし、このやうにヨーロッパの近代国家による植民地主義の侵略の手先であると知つた15世紀と16世紀、または17世紀初以外には、明治維新以降、キリスト教を排除しまたは否定してゐない。要するに、

契約を解約することは文化の問題ではなく、商業の、即ち経済での民法の問題である。

ここでも極左・共産主義者の悪意は範疇の混同にあることを忘れないで欲しい。これを峻別することが、私たちの無慈悲なる、情け無用の、妥協の一切ない対抗策です。

さて、問題はいつも同じところに戻つて来る。

「このお注射がいいね」と君が言ったから●月●日はお注射記念日

結局この●月●日を特定して書き入れ決めるのは、あなたの意志である。私は自分の意志で「お注射」は受けないので、この短歌は、私にとっては誠に不要な外来種の侵略である。

あなたが生きてゐるとは一体どういふことであるのかを、お考へ遊ばせ。

さう、余談ながら、そのために、安部公房をお読み遊ばせ。

縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く

(16)

岩田英哉

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかゐらないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてゐるのか

5.9 日本位相習合史

5.1.0 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.1.1 かごめかごめの歌は一体何を歌つてゐるのか

5.1.2 縄文土偶とは一体何か

5.1.3 習合といふ漢意をやまとこころで何といふのか

5.1.3.1 位相史のための紀元の種類

5.1.3.2 淤能基呂島とは何か

5.1.5 縄文土器とは何か

5.1.6 大祓へを読み解く

5.1.6.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.1.6.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.1.6.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の種類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.1.6.4 八の音義は何を意味するか

5.1.6.5 誰が「しろし召す」誰が「聞こし召す」のか

5.1.7 紫式部の超越論『源氏物語』

5.1.8 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか

5.1.9 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史

5.2.0 日本人はどこから来たか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか

5.17 紫式部の超越論『源氏物語』

5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか

5.19 ダイダラボッチと巨人伝説：大倭日高見国と播磨国：房総半島と瀬戸内海の交流の歴史

5.20 日本人はどこから来たか

目次

5.16.4 八の音義は何を意味するか

- A 箱根神社の三柱の御祭神の名前
- B それでは、瓊瓊杵尊は一体どこから天下つて来たのか
- C 最初の瓊瓊杵尊は、何処からミコトを持ち運んで来たのか
- D 何故日本の国は古事記と日本書紀といふ二種類の書物を必要としたのか
- E カミとミコトとヒトの違いと同じであることについて
- F 国学とLiberal Artsの統一と普遍学 [universal science] としての日本学 [Japanology] の成立
- G 日本書紀にある「神武天皇より数へて」「今に一百七十九万二千四百七十余歳」とある皇統の長さ（90万年）は何を意味するか
- H 古代の天皇の寿命の長さは何を意味するのか
- I 国学の超越論：賀茂真淵と本居宣長の超越論
- J 道元禅師の超越論
- K 親鸞聖人の超越論
- L 八岐大蛇とは何か
- M カミとは何か再説
- N シロシ・召すとキコシ・召す再説
- O 大祓に書かれてゐる場所はどのやうな場所であるか
- P 日本語の音義とひらかな・カタカナ・漢字の関係
- Q 国学言語論と欧米言語学の関係

5.16.4 八の音義は何を意味するか（5）：K 親鸞聖人の超越論

Topologyで日本の文化を解説する「内なる境界シリーズ」

(12)

扇

岩田英哉

あふぐなら いぶきどのかみ ゐたちなむ たれもかれもが みなかみがゆる



編集後記

●巻頭詩（20）泥：吉田一穂：吉田一穂（いつすい）は北海道積丹半島の生まれです。漁師の息子です。力の漲る『古代緑地』は素晴らしい。この『泥』もまたその片鱗を窺ふに足る3行です。

●周辺飛行（44）：3。『周辺飛行』について（21）：周辺飛行42：道化的脱出劇：ここまで道化的脱出劇について論じることができて満足です。あとは最後にメモした作品をまとめて、安部公房のカフカ論としてでも、一本の紐を通して論ずることを、このあとどこかで機会があれば、したい。

●【読者必見】安部公房にきた日本共産党入党通知を復元する：やつと、念願かなって、入党通知が復元できました。まあ、候文だといふのが誠によろしい。笑ってはいけません。入党なるものはやはり今も昔も厳粛な形式が必要なのです。頭をぶん殴られて意識を喪失して入塔できるのは、アンテン君だけです。

●二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（14）：安部公房の塔と倉橋由美子の塔（4）：5。『パルタイ』論：これもかつて念願の倉橋由美子を安部公房の文学との関係で基本的なことについて論ずることができましたので、満足してゐます。次回は漱石と安部公房です。

●糞尿と性愛の文学～生殖器・排泄器同一社会論仮説～（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉…page 42

●ネット・モノ論（19）：7.4.3 何故極左・共産主義者たちは都市を狙ふのか：岩田英哉…page 43

●サンチョ・パンサを求めて（12）：お注射記念日：もう権力のいふことなど聞く必要なし。何故なら彼奴等は狂気に堕ちて権力の濫用をしてみることには自覚がないからである。憲法の修正が必要です。総理大臣が気の狂った時の速やかなる代理の総理の就任規定です。今の政権を見てみると、さらに二番目の総理が狂人であつた場合の次の措置も講じておいて規定に定める必要がある。これはアメリカが今さうなりさうですから、同じことは日本でも早晩起きます。バイデンの後にカマラ・ハリスが就任したことを想像してみたら良い。

●縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（16）：5.16.4 八の音義は何を意味するか（4）：K 親鸞聖人の超越論：待て次号

●Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉…page 52

●では、また次号

【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集子自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。